

長崎建設新聞

発行所
 株式会社 建設新聞社
 〒854-0064
 諫早市若葉町165-11
 TEL 0957-25-5552 (代)
 FAX 0957-25-5556
 購読料 月額6,480円(税込)
 毎週火・水・金・土曜日発行
 日本専門新聞協会会員

■ホームページ■
<http://www.kensetsunews.co.jp>

新上五島・頭ヶ島大橋橋梁補修工事

システム吊り足場 クイックデッキを採用

効率的かつ安全に足場を組み立て



クイックデッキを
設置した頭ヶ島大橋

県五島振興局が発注し、(株)大島造船所が施工する「主要地方道上五島空港線橋梁補修工

事(頭ヶ島大橋検査路取替工)に、日綜産業(株)(本社・東京都、小野大社長)の新型システム吊り足場「クイックデッキ」が採用されている。

クイックデッキは、従来の吊り足場用チェーンの10倍以上の高強度チェーンを採用し、最大吊チェーンピッチ5.5mを実現。チェーンが少なかった

め、内部作業効率が向上するとともに、吊元の後作業(塗装・補修など)も減った。さらに、各パーツを差し込みピンで固定するなどシステム化。専用のL型幅木や手摺もシステムに組み込んだほか、吊元から最大5.5mの跳ね出し床を実現。跳ね出し床を先行して構築できるため、身

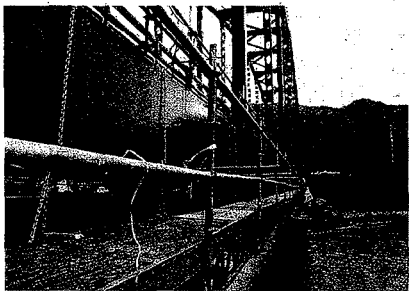
を乗り出した組み立て・解体作業が皆無になり安全性も向上した。

2015年5月に新技術情報システム

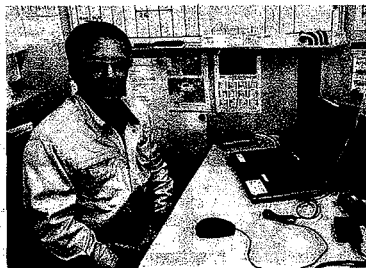
(NETIS)への登録が完了。これまでに200件以上の現場で採用されている。

今回採用された工事は、頭ヶ島と仲通島を結ぶ全長300mのアーチ橋(1981年架設)の上部工検査路取替工(延長150m、2

条)と、下部工検査路取替工(2基、片面)、下部工検査路設置工(5基、全周)。



クイックデッキの設置状況



大島造船所の濱田氏

現場代理人の大島造船所・濱田幸次氏によると、工事の進捗率は約20%で、古い上部工検査路を取り外した状態だという。クイックデッキは1500平方m採用。当初、足場の組み立てに1カ月程度を想定していたが、14日で完成した。「作業手順を守れば、安全で早く、実際の作業も安心して見ていられる」と話している。

鉄鋼関連・流通加工

長崎県五島列島の空港線

橋梁補修工事に採用

日綜産業の新型吊り足場

軽仮設機材メーカー日綜産業(社長・小野大氏)の先行床施工式フロア型システム吊り足場「クイックデッキ」が、長崎県五島列島の上五島空港線橋梁補修工事に約1500平方メートル採用されている。工期短縮や作業効率化に大きく寄与している。

合わせて架設された。デッキが設置されている空港は現在閉鎖中。

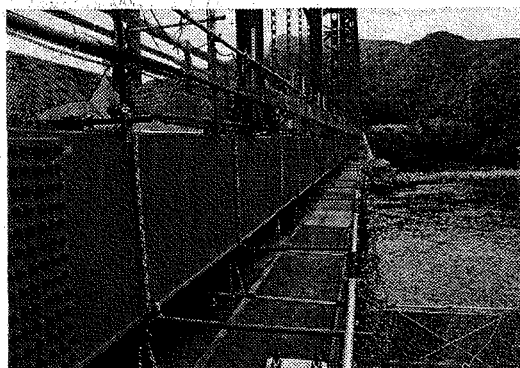
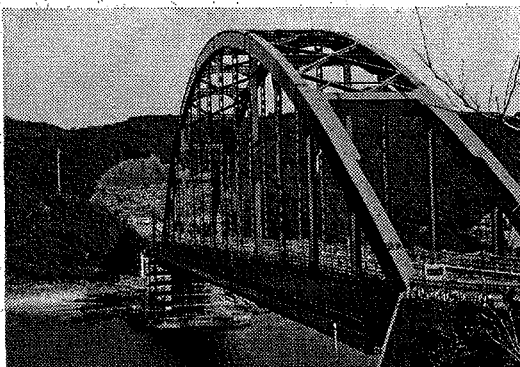
現在工事の進捗は、クイックデッキは、20%ほど。当初予定04年に米国の仮設機材では足場組立て1カ月を見えていたが、実際にウエイ(SAFWAY)は14日と半分以下の工社が開発した。作業床期で施工した。離島のの先行設置やユニットのため、機材は船で数回のシステム化などに、に分けて搬入。橋の下安全な簡易施工・解体を大型フェリーが航行 工期短縮が可能。最大することを考慮し、航路の高さが10以下に、5の跳ね出しで、これまでも困難だった場所ならぬようクイックにも設置できる。

今回の工事は長崎県 31日まで。工事を行う五島振興局発注で、施している頭ヶ島大橋は全工は大島造船所。昨年長300メートルのアーチ橋 8月8日から始まって、1981(昭56)路の高さが10以下に、5の跳ね出しで、これまでも困難だった場所ならぬようクイックにも設置できる。

日綜産業では、オリ ジナル製品の持つ基本 構造の優位性はそのままに、一部安全性を考 慮して同社従来製品の 機能や独自技術を組み 込んで改良した。天井工事、新幹線高架 について、

日綜産業では、オリ ジナル製品の持つ基本 構造の優位性はそのままに、一部安全性を考 慮して同社従来製品の 機能や独自技術を組み 込んで改良した。天井工事、新幹線高架 について、

日綜産業では、オリ ジナル製品の持つ基本 構造の優位性はそのままに、一部安全性を考 慮して同社従来製品の 機能や独自技術を組み 込んで改良した。天井工事、新幹線高架 について、



頭ヶ島大橋補修工事に採用されている日綜産業の新型吊り足場「クイックデッキ」

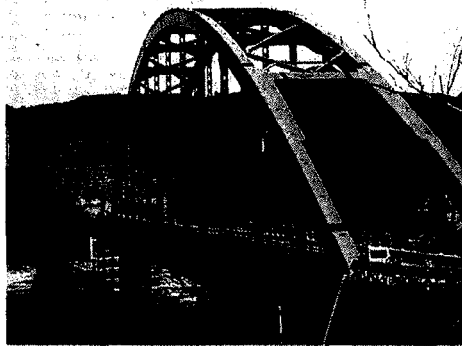
【福岡】軽仮設大手
の日綜産業(本社||東
京都中央区、小野大社

日綜産業

クイックデッキ 長崎橋梁補修で採用

足場組立期間、想定の半分

14日で足場組み立てが完了



頭ヶ島大橋に採用されたクイックデッキ

長)は30日、長崎県南松浦郡新上五島町の「上五島空港線橋梁補修工事(頭ヶ島大橋検査路取替工)(施工II大島造船所)に新型システム吊り足場「クイックデッキ」が約1500平方メートル採用されたと発表した。同工事では足場組立期間を約1カ月とみていたところ、14日で組み立てを完了。現場代理人であ

る大島造船所鉄構事業部鉄構部工事課の濱田幸次氏は「作業手順を守って作業すれば安全で早く、実際の作業も安心して見ていられた」とコメント。同社は今後も橋梁等の点検・補修などの公共工事に市場拡大を図っていく方針。

1981年の上五島空港の開港に合わせて架設された。同工事は、頭ヶ島大橋の上部検査路を取り替える工事で、橋下では大型フリー(高さ9・3メートル)の航行もあるため、航路の高さが10メートル以下にならないようにこのことから、同社のクイックデッキが採用された。

クイックデッキは高い部材剛性と水平旋回式の組立方法により吊点からの跳ね出し最大5メートルの先行床施工で作業を高所での危険作業なしで安全に施工でき、部材はシステム化されているので専用工具不要で人力での施工が可能。これまでに大型ショッピンクモルや航空機組立工場新築工事の天井工事、精密機械工場の天井改修、新幹線高架の改修などで実績を上げ、納入・稼働中の現場は200件以上。

特に天井改修工用足場では、工場を稼働させながら工事ができることが発注者などから評価を得ている。国土交通省の新技术情報提供システム(NEETIS、登録番号TH-150007-A)にも登録されている。

建設通信新聞

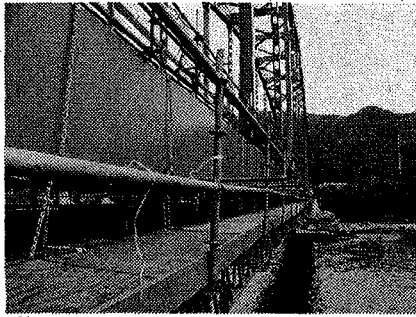
発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2017

安全性などに効果

日綜
産業

クイックデッキ採用

線路
工事
橋梁
補修
上五島
橋



長崎県五島振興局が発注し、大島造船所が施工する「主要地方道上五島空港線橋梁補修工事(頭ヶ島大橋検査路取替工)」で、日綜産業の先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」が採用され、現場の安全性向上や工期短縮に効果を発揮している。写真。

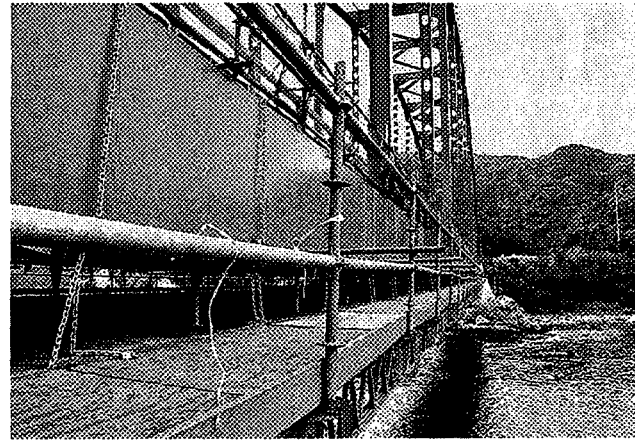
頭ヶ島大橋は、頭ヶ島と仲

通島を結ぶ全長300mのア
チ橋で、1981年の上五
島空港開港に合わせて架設さ
れた。現場は古い上部工検査
路を取り外した状態になって
おり、約1500平方mのク
イックデッキを採用してい
る。橋の下を大型フェリーが
航行するため、海面から10m
以下に下がらないように設置
している。工期は8月31日ま
まで、進捗率は約20%となっ
ている。工事場所は長崎県新
上五島町友住郷。
大島造船所の濱田幸次現場
代理人は「発注者との予定で
は足場の組み立てに1カ月を
見込んでいたが、実際は半分
以下の14日の工期で組み立て
ることができた。作業手順を
守れば安全で早く、作業自体
も安心して見ていられる」と
話している。
クイックデッキは国土交通
省のNETIS(新技術情報
提供システム)に登録されて
おり、これまでに納入・稼働中
の現場は200件を超えた。
今後もメンテナンス時代の到
来に向け、橋梁の点検・補修
などの公共工事で市場の拡大
を図っていく。

日刊 建設工業新聞

設置期間を大幅短縮 作業の安全にも寄与

日綜産業のクイックデッキ



日綜産業の新型システム
つり足場「クイックデッキ」

「写真」が長崎県発注の離島架橋の補修工事で採用され、好評だ。同社のヒット商品である「3Sシステム」の機能を付加した手すりや支柱、アルミ製床板、オリシナルL型幅木など独自技術を組み合わせたもので、設置期間を当初予定の半分以下に短縮でき、作業の安全にも寄与している。

採用された工事は五島振興局が発注し大島造船所が

新上五島町で施工中の「主要地方道上五島空港線橋梁補修工事(頭ヶ島大橋検査路取替工)」。延長300mのアーチ橋で上・下部工の検査路取り換えと下部工の検査路設置などを行っている。工期は8月末まで。

橋梁の下を大型フェリーが航行するため、航路の高さ10mを確保するため、クイックデッキを約1500平方m採用。現場代理人の濱田幸次氏によると足場の組み立て期間を当初予定の半分以下の14日に短縮でき、「作業手順を守れば安全で早く、実際の作業も安心して見ていられる」という。

日綜産業によるとクイックデッキの納入・稼働中現場は200件以上。国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)にも登録されており、同社では今後本格的に到来するメンテナンス時代に向け、橋梁などのインフラの点検・補修などの工事を中心に市場の拡大を図っていく意向だ。